

原子力規制委員会  
山中伸介委員長

## 能登半島地震を受けての地元住民からの要望書

1、国の地震本部などが、地震に関する新知見をまとめるまで、現在、再稼働に向けて進めている新規制基準適合審査および使用前検査を凍結してください。

2、新知見に関する検討が続けられている間も、従来の想定を上回る地震被害の恐れが払拭されません。今、稼働中の原発を動かさないようにしてください。

2024年2月2日

原発周辺に暮らす地元の声を伝える緊急行動

北野進（石川県珠洲市）

中垣たか子（石川県金沢市）

近藤ゆき子（新潟県刈羽村）

石地優（福井県若狭町）

東山幸弘（福井県高浜町）

阿部美紀子（宮城県女川町）

荻三枝子（茨城県ひたちなか市）

### 賛同者

志田弘子（石川県七尾市）

筒井章子（福井県小浜市）

坂上和代（福井県小浜市）

宮崎宗真（福井県おおい町）

村上道子（福井県おおい町）

蓮池透（新潟県柏崎市）

田村静子（新潟県柏崎市）

伊藤一明（新潟県柏崎市）

池野里美（新潟県柏崎市）

笹川 陽介（新潟県柏崎市）

砂長谷真梨子（新潟県柏崎市） 田村榮子  
（新潟県刈羽村）

山岸協慈（新潟県上越市）

牧田正樹（新潟県上越市）

日浅惇子（新潟県上越市）

中村康子（新潟県長岡市）

笠原絢子（新潟県出雲崎町）

吉田智里（福井県若狭町）

三好千寿子（福井県美浜町）

福永弘恵（鹿児島県日置市）

ほか261人

## 緊急行動に寄せられた住民の声（抜粋）

原子力発電はとても危険な工場（機械）だと思います。地震の多い日本の原発の危険性を真剣に議論をしていただきたいと思います。

今回の能登半島地震においては、今までの地震とは大きく異なり、断層が重なって動いたり、陸地の隆起があったりした。このように地震が活発になっている日本国においては、少しでも何か異常が起きたら危険になる原子力発電は、電源として「不適切」である。この地震は今後の再稼働に対する「警告」である。このことを真摯に受け止め、すべての原発を停止し、脱原発の道を探ることが、日本国への「安心・安全」であり、二度と東日本大震災のような原発の過酷事故を起こさない道であることを再認識するべきである。

深層防護第5層の避難計画について原子力規制委員会が責任をもって審査できないのであれば、原発稼働を認めるべきではありません。自然災害と原子力災害が同時に起きた場合、原発対応と被災者救助を自治体が同時に遂行するのは無理です。自然災害の被災者の人命を犠牲になる可能性があるなら、原発は廃炉しかありません。

本来のあるべき姿に余りにも背いた姿勢を見るにつけ、負の歴史を教訓としない無責任さにやり切れない思いです。福島第一原発事故をしっかりと胸に刻めば、このような姿勢はとれないはずです。謙虚に、愚直に、倫理感をもって仕事をしてください。

規制の意味は、「一定の規則を作って、制限・統制をすること」です。作った規則は人命を第一に考えていますか？政治に追従することなく、政治に制限をおこなっていますか？原子力規制委員会が未来で「よくやった」と評価されるよう、また、自分の家族に胸を張って自分の職業を誇れるようお仕事をお願いします。

東日本大震災では福島第一原発が大事故を起こし、この度の能登半島地震では稼働中ではなかったため運よく大事故は免れましたが、志賀原発にも被害が出ました。原発事故はひとたび起これば、多くの人の生活や国の財産が長期にわたって取り返しのつかない被害を受けます。福島第一原発の4号機のように「運よく大事故に至らなかった」という「運任せ」で事故は防げません。今、日本だけでなく世界中で大きな地震が頻発していますし、南海トラフ地震もいつ起きても不思議ではないといわれています。稼働中より停止中の方がいくらかでも安全性が保たれるのであれば、今すぐすべての原発を停止するのが得策と考えます。ぜひとも今すぐ全原発の停止をご判断ください。

能登半島地震で原発事故時の避難計画が机上の空論であることが明らかになりました。志賀原発が稼働していたらと思うとぞっとします。稼働中の原発はすぐ停止してください。このままでは規制委の不作為が問われるのは必至です。

多くの声が寄せられています。

13ページわたるファイルは右のQRコードからダウンロードしてください。

